

湯沢学園での平和教育は どのようなことを行っているか

あや子 (文責)

考えはあるか。

うか。平和教育に対する他の 切さを自覚した人が育つと思 の中学校生活でたった1回の

質問

平和の大切さをどのよ

料を直接目にでき、

貴重な体

く上でとても重要になってき

験だ。平和大使が語り部とな

うに考えるか。3年間

講演会を聞くことで平和の大

相手を思いやる気持ちを てることが大切

埋解を得られるマグナとの交 育が大切。異文化等への深い 文化・生活・宗教等、又考え 万の違いを理解するための教

を育てることが大切 相手を思いやる気持ち

応とする。 ことを学校に伝え、

なる。 り発信する。よい平和教育に 遣事業を実施するよう、行政 に働きかけていただきたい。 教育委員会は、町として派 現在は、中学生全員で

方向。 ら話を聞く講演会を実施する 大使という意見もある 直接広島に係わる人か 今後の対

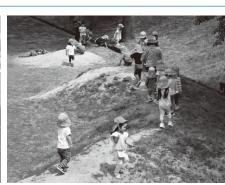
> げていくことができないか考 に整備したか。 く。」と答弁した。どのよう えている。」「不利益にならな ている。」「給料をはじめ、上 いように労働環境を整えてい

も支給することとした。 療養 月から0.7月へ。 休暇を無給から有給にした。 末手当を0.6125 給与改定を行った。 勤勉手当 期

もまわってきて、負担が大き 欠席している職員の分の仕事 欲がわかない。長期に 給与に上限があり、意

手当の月数等の改善を。 意欲を持って、その持つ能

ころを多くの非正規で担って 正規職員で担うべきと



認定こども園 日常の様子 楽しそう!!

力を存分に発揮できるよう い、といった声も聞く。

員の処遇改

善は

昨年、

町長は

「会計年

近隣の市町ではすでに実施し

「中学生平和大使派遣 事業」を実施しては。

語り部から直接話をお聞き 広島平和記念資料館で資

湯沢町の行政運営を進めてい

度任用職員の皆さんは

酬というのは大事。国に準拠 いただき、それに見合った報 をもってしっかり仕事をして ながら見直しをしている。 識している。やりがい 重要な立場なことは認 自治体の業務は、

湯沢町

平成22年6月 湯沢町非核平和都市宣言

> いる。 を進めるべき。 観点からも、早急に処遇改善 同 一労働 同 一賃金の

も考えていく。 計年度任用職員では業務・責 に見合う対価については今後 仕に違いがあると認識。労働 理解はある。常勤と会 同一労働・同 一賃金の

ゆざわまち 議会だより 第159号 令和7年10月26日発行